

遠野

市議会だより
2008.1.31

NO. 10



まこやが・さんぽ

附馬牛保育園

「明けましておめでとうございます！」子どもたちの元気なあいさつで新しい年がスタートしました。

子どもは風の子 元気な子 降り積もった雪に大はしゃぎ。雪の上を転がりながら元気いっぱい遊んでいます。元気にたくましく、大きくな～れ!

(森田 美千代園長)

主な内容

12月定例会

- 保育料の統一・軽減化
- 米価下落と価格補てんのゆくえ
- 牧野使用料統一へ

12月定例会

平成 19 年第 5 回定例会を 12 月 7 日から 12 月 14 日までの 8 日間開催しました。

一般質問には 7 人の議員が登壇。また、小友町長野地区上水道の事故等の問題についての緊急質問がありました。

今定例会では、提案された条例等の制定 14 件、平成 19 年度補正予算関係 4 件、人事案件 1 件の全議案を原案のとおり可決したほか、請願 1 件を可決し、2 件を継続審査としました。

議 案

- 遠野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市立幼稚園保育料及び給食費条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市国民健康保険診療施設使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市市営牧野条例の制定について
- 遠野市市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市特別用途地区建築条例の制定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
(遠野市ふれあいホーム)
(遠野ふれあい交流センター)
(遠野市児童館)
(遠野市中心市街地活性化センター)
(遠野高等職業訓練校)
- 平成 19 年度遠野市一般会計補正予算 (第 5 号)
- 平成 19 年度遠野市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)
- 平成 19 年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算 (第 2 号)
- 平成 19 年度遠野市水道事業会計補正予算 (第 2 号)
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 佐々木 徹氏 (宮守町)

道路特定財源の暫定税率の堅持を



菊池 民彌 議員

【質問】 遠野すずらん振興協同組合発行の買い物ポイントカードの満点券を活用し、市税や公共料金の納付ができないか。

【市長】 遠野すずらん振興協同組合と協議し、スキップカードによる公金の納付について年度内に検討し、実現に向けて取り組む。

【質問】 行政組織条例を改正し、市民にわかりやすい組織で、行政運営の効率化と行政サービス向上に配慮すべきと思うが。

【市長】 社会情勢の変化及び新たな行政ニーズに対応することや、多くの課題に柔軟に対応するため担当者を配置している。組織は生き物であることを理解して欲しい。サービスを低下させない方向で、組織のあり様について検討を進めて参りたい。畜産については、畜産振興公社の延長線上にあつて、畜産振興を総合的に推進する「仮称」遠野畜産総合センターの設置について、関係機関と協議検討を重ねている。この組織の実現は、畜産振興を図る上で大切なものと認識している。

【質問】 企業誘致促進法に基づく、北上川流域地域産業活性化協議会策定の基本計画の内容と本市に係わる企業立地等は。道路特定財源の暫定税率が廃止の場合の影響は。

【市長】 基本計画は、平成 19 年から 24 年までの計画、協議会構成区域に工場団地 61 箇所、指定業種は自動車、半導体など。成果目標は、新規立地を 60 件、新規雇用創出を 4 千人、この計画中に本市の企業誘致箇所を 4 箇所設定し、企業誘致の集積を推進する。鳥居長根地区の先行取得地を工場団地、工場用地と位置づけたい。道路財源の暫定税率が廃止となると、本市の影響は平成 19 年度予算で試算し、3 億 5 千万円の減が生じ、市道整備に影響大である。

【その他の質問】 職員の心身の管理対応について



▲今議会では 7 人の議員が一般質問を行った

農畜産業の振興と放牧事業の統一について



多田 誠一 議員

【質問】 米価下落の影響と今後の生産調整をどのように進めていくのか。

【市長】 米価下落は収入の減少や耕作放棄地の増加、景観の悪化にもつながる。転作田の活用など新たな営農体系を構築しながら所得の向上に取り組んでいきたい。

【質問】 今ある政策の中では、集落営農の中で品目横断

経営安定対策に取り組み、収入増を図るべきと考えるが、市長はどのように考え進めるのか示されたい。

【市長】 制度には様々な課題も多いので検討を行いながら、制度の趣旨や内容の周知に努め加入拡大を図りたい。これからは地域が自立できる体制の確保を農業活性化本部の柱に加え、関係機関とさらなる連携を強めながら三位一体で農業振興に当たりたい。

【質問】 放牧管理体制や料金の統一は旧宮守村が行ってきた畜産政策の大転換となるので、旧村の畜産政策を十分尊重しながら畜産拡大につながる政策を示されたい。併せて、畜産総合センター構想をどう実現するのかも示されたい。

【市長】 今、国直轄の草地基盤再編調査事業を行っており、結果を踏まえて草地改良を図り利用者の満足できるものを提供していく。旧宮守村が村営寺沢牧場を畜産振興の核と位置づけ、放牧、粗飼料供給など地域生産力の向上を図ってきたのはよく承知している。新市の畜産振興は総合計画にも搭載したとおり振興を目指していく。その中で牧野条例、管理体制の統一を行いながら畜産振興を進めていく。畜産総合センターは地域畜産の振興を図る上で将来的に重要であり、関係機関との協議を深めながら早期設置を目指して進めていきたい。

【その他の質問】 北上山地に展開する放牧場や周辺の景観保護について



▲今後畜産拡大の対策・施策が望まれる

米価暴落に対する市長の見解は



小松 大成 議員

【質問】 米価暴落で農民は稲作経営に対し希望を持ってない状況にある。農業生産100億円を目指している遠野市としては打撃になる。価格安定対策を政府に求めるべきである。

【市長】 米政策は国策として実施され、各自治体での取り組みには限界がある。しかし、暴落の原因をしっかりと捉えそ

の背景とも言えるWTO・FTA交渉を見ながら、農業団体とも情報を共有した上で、政府要望をすべきと考える。

【質問】 後期高齢者医療制度が来年4月から実施されようとしている。高齢化社会を支える医療制度の構築をうたいながら高齢者に対する負担増の押し付けと、医療費抑制の構図が明らかになるにつれ国民の批判が強まっている。政府に対し凍結を求めるべきである。

【市長】 後期高齢者医療制度の運用において大事なことは、高齢者が安心して医療機関等の受診ができることであり、安定した制度にすることと認識する。必要に応じ、県後期高齢者医療広域連合及び関係省庁への要望等に努める。

【質問】 ごみ処理基本計画によると、一般廃棄物の有料化も検討課題と明記しているが、有料化はごみ減量化にはほとんど効果がないとの報告がある。有料化には慎重であるべきである。

【市長】 遠野市におけるごみ有料化については、有料化を進める前に、ごみ有料化の目的でもあるごみ排出抑制や再利用について、きちんと市民に認識していただくことがまずもって大事なことで考えている。

【その他の質問】 全国一斉学力テストに対する教育長の見解、市内小中学校のいじめ問題の状況と教育長の見解。



AEDを小中学校にも配置を



石橋 達八 議員

【質問】 近年増加している「発達障害」(①注意欠陥多動性障害②学習障害③アスペルガー④高機能自閉症等)は早期発見、早期療育の開始が重要であることから、5歳時健診の実施が求められる。

【市長】 「少子化対策・子育て支援総合プラン」の作成の中でも検討した、総合プランの取り組みの結果を検証し、

課題等を把握し「発達障害児」の早期発見、早期療育支援などの充実に努めたい。

【質問】 AED(自動体外除細動器)の設置施設の拡充及び学校施設等の拡大は。

【市長】 現在、34箇所に設置している。来年度は遠野運動公園やふれあいホームなど7箇所に設置を予定している。小中学校については、来年度は中学校、平成21年度は小学校に設置を検討している。

【質問】 遠野市は農村と都市間交流の先進地である。平成20年度から総務省、文部科学省、農林水産省の3省が連携して進める「子ども農山漁村交流プロジェクト」の取り組みは、地域活性化のためにも必要だ。

【市長】 本年10月に受け入れ状況調査があり、意欲ある旨回答した。5年後には全国のすべての公立小学校、年間120万人の児童の交流が始まる。遠野市では、これまでのノウハウの蓄積と経験を活かし、検証も行いさらなる充実に努める。

【質問】 全国的に、食品の産地偽装や日付の改ざんなどの偽装表示が頻発している。遠野市から、このような食の信頼を失墜するような事態があってはならない。関係者に法の厳守、正確な表示の喚起は必要ないか。

【市長】 このような事態を受けて、市内産直を対象に研修会を実施している。市内ではこのような偽装のないことを信じている。

【質問】 危険性がある消石灰は直ちに排除すべきだ。

【教育長】 そうしたい。児童生徒が安心安全な学校生活を送るため、最大限配慮する。



▲来年度中学校に設置が検討されているAED

宮守町の活性化対策について



菊池 充 議員

【質問】 合併後2年が経過した今日、宮守町の経済活動が減少し活力低下を招いているが、これからの活性化対策を示されたい。

【市長】 みやもりホールや総合センターの活用状況を見ると利用人数の極端な減少はなく、人が集まる機会は大きく減っていないものと考えるが、市が所有している土地や

遊休施設を活用した企業誘致など、宮守町の振興につながる施策に取り組んでいく。花巻・釜石自動車道の宮守インターが開通しても宮守町が目的地となるよう、観光資源や地域資源を情報発信し交流人口の拡大を図る。情報ビジネス校の閉校後の校舎の活用については、宮守町活性化の拠点と位置づけて議論を深める必要がある。隣接する銀河の森運動公園や柏木平レイクリゾートなどを含めた一つのエリアとして、合宿施設などへの活用策を探りたい。寺沢高原の観光施設については観光交流施設整備保全方針に基づき改修を行う計画であり、整備後はマスメディアを活用してPRし観光振興と体験交流施設としての活用を図っていく。

【質問】 安心、安全の道路網整備について、市道高館線、迷岡線の整備計画を示されたい。

【市長】 迷岡線は総合計画前期計画で平成22年度以降に整備することで位置づけており、高館線は災害の場合の緊急代替路線でもあるため今後の事業計画に搭載し、順次整備していく。

【質問】 民生委員・児童委員の活動支援について、任命権、支援策、市独自の選任についての考えを示されたい。

【市長】 任命権については現行制度を堅持、支援の可能性について議論を重ねていく。3年後の改選期には、待ったなしの削減が求められることを見据え、できる限り早い時期に方向性を見出したいと考えている。



第一次産業を元気に



新田 勝見 議員

【質問】 山積している市課題の中で大切なのは、産業が元気になること。その中でも第一次産業の振興が必要である。基幹作物の水稻において、米価が大幅下落し、大きな打撃があり生産意欲の減退と担い手育成がままならない。市長が考えている市農業の活路と展望について伺いたい。

【市長】 ASTの取り組みをさら

さらに促進し、基盤整備、担い手育成、集落営農支援を進めていく。

【質問】 品目横断的経営安定対策において、ナラシ対策としての補てん金はいつ支払われるのか。また、10a当たりの金額はいくらになるのか。年度内に支払いすべき。

【市長】 発動は県単収と指標価格の確定をみてからとなり、時期は来年5月頃と見込まれている。補てん額は例として指標価格が1俵1万4千円で、収量が平成18年度並みの場合10a当たり1万7百円が見込まれている。支払い時期について全国レベルでも要望されている。

【質問】 木工団地の売り上げが計画と比べてかなり低く、経営も厳しいと報告を受けた。遠野型住宅の販売は首都圏を中心としているが、もっと地元で販売ができるシステムが必要である。大手メーカーが進出する中で、地元工務店もがんばっている。できるだけ遠野産材を利用することで川上から川下までの対策としても生きてくると思うが。

【市長】 大手ハウスメーカーの進出によって中小工務店の経営が厳しさを増している。このような状況の中、民間事業の掘り起こしと販売促進が喫緊の課題となっている。来年度以降は「木の家いわてパートナーズグループ」を組織し、県産材を使った本格木造住宅「木の家いわて」の販売を行うこととしている。また、友好都市にも働きかけ、公共工事として売り上げの増加と事業体の経営改善を図っていききたい。

【その他の質問】
交流事業のあり方について



▲遠野産材を使った木の香る家

観光客の誘致について



照井 文雄 議員

【質問】 まちなか再生、遠野遺産、平泉世界遺産など広域的な観光の取り組みは。

【市長】 中心市街地活性化基本計画を策定し国の認定を受けるための準備中である。遠野遺産に認定された53件を新しい観光素材として案内看板等を整備し、市外に向けPRを行う。平泉の世界遺産登録が間近いことから、この

好機を追い風としたい。平泉、花巻、遠野の各観光協会が「いわてクラシック街道」と名づけて、協議会を作り連携を図っている。10月には県南広域関係機関団体等で「北上川流域観光地域づくり協議会」も発足になり、誘客に弾みがつく。

【質問】 遠野市総合計画にない事業の推進は。

【市長】 前期基本計画は「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向けて、主要施策を設定し着実に推進しているところである。基本計画にない事業については、行政評価による事業の見直しを行う中で、優先度や財源などを十分に考慮して、緊急かつ重要な政策課題の解決に効果が期待できる事業を実施計画に搭載し実施している。今後も社会情勢の変化に対応した、スピード感のある行政運営に努めたい。

【質問】 小学生の道德教育の必要性が叫ばれている中で、退職された色々な職種の方々に特別講師をお願いし、道德教育を充実しては。

【教育長】 道德教育は、豊かな人間性、社会性、国際社会に生きる日本人の育成、心情や判断力、実践意欲や態度などの道德性を養うことを目標にしている。その上で60歳以上の方の経験や体験を基にした講話などは、大切な視点であると考え。地域人材を生かした多様な道德教育や情操教育にも力を入れていく。

緊急質問

【質問】 小友町に発生した工事現場からの油もれによる給水事故の対応は。また、保健所遠野支所の廃止の情報があるが。

【市長】 直ちに取水口の閉鎖、保健所の水質検査、上水場の洗浄、給水車の出動、地域住民への広報等の手配を行った。現在は、においのみとなったので状況を見守っているが、今後においがなくなれば直ちに給水再開をしたい。

保健所の廃止問題は、市民の安心・安全確保の面で大事なことであり、権限委譲や住民サービス維持など、県とよく協議をしていきたい。

予算等審査特別委員会 12月12日~13日

予算等審査特別委員会（議長を除く 21 人の議員で構成、委員長は萩野茂男議員、副委員長長織笠孝之議員）は、条例 9 件、予算 4 件、その他 5 件の 18 件について付託を受けて 2 日間の審議を行いました。

今委員会では遠野市職員給与の引き上げ、畜産振興に係る公共牧野の一元化、放牧事業の支援、障害者自立支援介護給付、多重債務者への対応、品目横断的経営安定対策への対応等について活発な質疑が交わされました。その結果、全 18 議案が原案のとおり可決されました。



職員給与の一部改正なる

**職員給与一部改正
条例について**

【質問】 財政 5 カ年計画が確実に実行されているからといって給与改正に市民の理解は得られないと思うが、また、改正に当たって今回検討した内容は。

【答弁】 市内の誘致企業や進出企業の賃金実態も把握している。また、市内の一般企業の状況も理解している。市の給与水準の現状は、県内 35 市町村のうち 29 番目であり、財源を確保しつつ若年層に重点をおいた給与改正を行うものであり、ご理解をいただきたい。

【質問】 今後の市民所得増や市民生活の向上策をどう進めるのか。

【答弁】 健全財政 5 カ年計画を確実に実行する中で、職員も一丸となって意識改革を行い、市民と共に市の課題や問題解決のため、そして市の活性化のために最善を尽くしていくことを約束する。

**保育料の軽減に
ついて**

【質問】 保育園の保育料の軽減はどうなっているのか。

【答弁】 統一後の保育料階層表の全ての額から 5% 軽減し、さらに 3 歳児未満の額を 10% 軽減し、また第 2 子児童の料金を 10% 軽減する。そして、第 3 子以降児童の保育料は応益負担として月額 4,800 円の有料とする。これは、従来の保育料軽減率 37% から 50% を目指したものである。

【質問】 保育料 50% に対する市の負担は。

【答弁】 従来負担 7,140 万円に対して 3,420 万円の増であり、これを保育協会に補てんする。

【質問】 保育協会の雇用は適正、健全か。

【答弁】 正職員、パートが半々の状況が適正かどうかの判断はできないが、財政的な面を考慮し協会と連携して健全化に取り組んでいるところである。

**牧野使用料の統一
について**

【質問】 牧野使用料の統一を図ることは理解するが、今回の改正により旧宮守村は値上げになり旧遠野市は値下げになる。旧遠野市の料金を基準にして差額を補てんする方法については検討したのか。

【答弁】 今回の改正は料金の高い安いという考え方よりもコスト計算をした上で、庁内をはじめ生産者も含めて検討した結果である。

【質問】 計画によると今後 3 年間は放牧料金の軽減が図られるが、畜産振興のためにはそれ以後も継続するべきと思うが。

【答弁】 3 年以後となると財政事情や物価の状況等が変わる可能性があるなのでその時点で検討する。

【質問】 放牧頭数の今後の推移についてはどう捉えているか。

【答弁】 増頭すると考えている。

**助産院「ねっとゆりかご」の
今後について**

【質問】 助産院が 12 月 1 日開設されたが、現状は。

【答弁】 盛岡日赤病院を嘱託医とし、その他 8 医療機関とネットワークを構築している。この 9 機関で市内の出産の 9 割以上をカバーできると考えている。現在の利用状況はおおむね順調に推移しており、過日は県立大船渡病院から監督医である副院長の小笠原先生が来遠、健診業務や消防署との意見交換を行った。

【質問】 全国では妊婦がたらい回しにされ、不幸な事故が発生しているが。

【答弁】 先ず妊婦が健診を受けないということのないよう助産院としての機能の充実・強化を図り、ネットワークを十二分に発揮したい。また、岩手医科大学からは「ハイリスクの妊婦は当大学で対応したい」との熱い協力姿勢を示している。

米価精算と支払い時期について

【質問】 品目横断的経営安定対策における米精算時期と10a当たりの補てん金はいくらか。

【答弁】 20年3月31日までに米価の標準額の決定がなされ、ナラシ対策としての申請をする。農家への支払いについては、5月から7月になる見通しである。補てん金は1俵当たり60kgの米価が1万円とした場合、計算上は10a当たり4万2千円となる

が、農家が3千円の掛金、国が9千円の掛金ということで合わせて最高で1万2千円となる。

【質問】 最高で10a当たり1万2千円ということになれば9割の価格補てんとして推し進められてきたこの制度が、無意味なものになるのではないか。

【答弁】 まだ米の単価も決定していないし、政府の見通しもはっきりしていない段階なので申し上げられない。

森林と振興について

【質問】 市における林業の売り上げはいくらか。

【答弁】 素材の生産量で5万5千㎡、スギに換算して約5億5千万円となる。

【質問】 最近における住宅の着工数と地元工務店が請負した戸数は、どうなっているのか。

【答弁】 以前までは100戸程度あったものが、18年には80戸、19年は現在50戸程度と年々着工数が減っている。原因として、書類申請が厳しくなっている。また、大手ハウスメーカーは、以前は30%位あったが、最近10%程度になっている。

【質問】 少子高齢化の影響もあると思うが、今後の住宅振興の見通しは。

【答弁】 若い人を中心に持ち家志向から、アパートの様な貸家に住む傾向にある。今後建てかえ需要に対応したい。

中学校再編の見通しと時期は

【質問】 中学校再編は検討委員会で検討されているが、諮問された項目について答申内容は次の3月定例議会に提案や報告が行われるのか。

【答弁】 今年度中に諮問事項について答申をお願いしている。期限を定めて無理が生じて困るが、年度内答申としている。その時期に答申が得られれば、3月議会にも答申内容を示したい。

【質問】 3月までに地域の声について、地区センターを中心に懇談会や説明会をする予定があるのか。

【答弁】 検討委員会の答申を基に、教育委員会で再編の原案を作成し、地域に入っていく。時期的には3月答申があれば7月から9月に懇談会を開催し、市民からの意見を聞きたい。

議会運営委員会行政視察報告



▲自治基本条例について研修(宮古市にて)

議会運営委員会では、去る10月24日宮古市を訪れ自治基本条例について視察研修を行った。

宮古市では地方分権の進展により、各地域の特徴を生かした独自のまちづくりが行えるようになり、特に、住民に最も身近な行政である市においては、市民との協働によるまちづくりを主体的に進めるため、これまでともすれば明確にされていなかった市民の市政参加・参画の権利や責務等について明らかにするため、「自治基本条例」の制定の必要性が高まった。

策定にあたっては、市民懇談会、庁内若手ワーキンググループ、まちづくりアドバイザーの3つを活用し、2年余りをかけ素案を策定し条例思案を報告した。条例で定める主な内容は、まちづくりの基本原則、自治体運営を担う三者(市民、市議会、市の執行機関)の責務等、市政運営の原則とし、地方分権時代における自立した自治体にふさわしいまちづくりを目指しているとのこと。我が遠野市でも自治基本条例について検討すべき時期ではと感じた。

(菊池 敏行委員長)

議員談話室

12月定例議会を振り返ると農政論議に注目された。

19年産米の米代金仮渡し金方式から、価格の下落による農家の生産意欲の低下など農業政策のあり方に論議が白熱した感がある。しかし考えるに、市独自では解決できない面もある。国の政策を変えない限り現状は変わらないのではないかと。当市の県営ほ場整備は誰のためのほ場整備なのか私には不思議でならない。国の政策は小規模農家を切り捨てるためなら我が市民にとって得策なのか疑問が残る。なぜなら米国産米の生産コストは日本の6分の1と報じられている。市民の命を守るためには、遠野独自の農業政策を模索する必要があると考えられた今期定例会であった。

(萩野 茂男議員)

請願審査報告

今定例会には2件の請願が提出され、教育民生及び産業建設両常任委員会に審査付託されました。また、9月定例会において継続審査となった「後期高齢者医療制度実施にあたっての請願」についても教育民生常任委員会で審査しました。各常任委員会における審査及び本会議の議決結果は以下のとおりでした。

■後期高齢者医療制度実施にあたっての請願

〔請願者 遠野母親連絡会会長 松崎 ふみ子〕

《審議結果 不採択》

(不採択とした理由) 既に実施に向けて取り組んでいるため

■米価の安定対策を求める請願

〔請願者 遠野市農民組合 代表者 阿部 喜一〕

《審議結果 継続審査》

■2008年4月実施の「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を求める請願

〔請願者 岩手県社会保障推進協議会 会長 高橋 八郎〕

《審議結果 継続審査》

常任委員会等の活動

- 総務常任委員会(11月15日開催)
 - ・遠野市公共工事の入札に係る総合評価導入について
- 教育民生常任委員会(12月3日開催)
 - ・平成19年第5回定例会に係る健康福祉部所管事業について
- 産業建設常任委員会(11月16日開催)
 - ・まちなか再生に伴う下一日市地区の今後の活性化について
 - ・稲荷下第二地区土地区画整理事業の進捗状況について
- 議員全員協議会(11月19日開催)
 - ・遠野市中心市街地活性化計画の策定について
 - ・遠野市総合食育センター整備事業実施方針(案)について
- 議員全員協議会(11月27日開催)
 - ・遠野市少子化対策・子育て支援総合プランについて
 - ・使用料、手数料等の見直しについて
 - ・畜産振興対策について
- 遠野市政調査会(11月5日)
 - ・岩手県市議会議員研修会



わたしの ひとこと

To遠野

工藤 賀子さん
(綾織町)

遠野に家族共々戻って来て8年経ちます。農業に従事したということもあるのですが、生活の違いを感じました。今、地球温暖化問題を考え、地球に優しい農業が求められていると思います。自然に優しいスローフード的な農業と、生活を重視した促成栽培的な農業とのバランスを考えて行かなければならないと思います。

「市場原理的な考え方を導入すべきではない分野は、農業と教育である。」と、ある評論家の方が語った言葉を思い出します。私は、遠野らしい農業や教育があって良いと思います。偉い人というのは、地位や名誉がある人ではなく、自分の育った地域を語り継ぎ、守り育てていく人だと聞いたことがあります。そんな様々な考えと個性を組み入れてくれる遠野であって欲しいと思います。

3月定例会の予定

- ◆定例会は2月22日(金)開会の予定です。詳しくは議会事務局まで。
- 議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。議会事務局 62-2111(内線271) gikai@city.tono.iwate.jp

編集後記

新しい年を迎えた。

山積する課題をどのようにして解決していったらよいのか市当局もそして市議会も、市民のためにと想着て議論している。しかし、市民にはどう映っているのかわからない。限りある予算の中で、市民にとって何が一番大切なのか。それは個人によって違うと思う。産業も福祉も教育も同等に大切である。今年一年の中で、何をどう議論し、結果はどうなったのか。遠野テレビでは、議花生中継をしているが見れない人も多いと思う。議会だよりは、ゆっくり、いつでも読める。今年も、市民に期待される紙面づくりに励みたい。(新田 勝見)